

# 社会貢献活動 (2015 年度)

## 1. 学生ボランティア活動

学生団体のボランティア活動で以下のような活動を展開している。

### 1) ボランティア活動助成(公開審査会&ドネーションパーティー)

ボランティア活動に取り組む学生を応援するために、大学同窓会と共催で活動への助成を実施。2015年6月27日に公開審査会を行い、8団体に対し総額30万円を助成した。さらに、当日卒業生や地域の方々から寄付を募り、11団体に対し総額126,000円の寄付が集まった。

### 2) 学生団体のボランティア活動

#### ■ 聖学院大学ボランティアアソシエーション(GRACE)

学内でキリスト教行事の他、学外でのボランティア奉仕活動を展開。2015年度は全学礼拝(火～金曜日)の運営、児童養護施設などでの奉仕活動、東南アジアの子どもを支援する募金活動などを継続的に行っている。

#### ■ 東南アジアボランティア部 Rung(ルング)

東南アジアの文化について学び、自分たちにできるボランティアを実践している。壁新聞の作成掲示、ラオスフェスティバル2015の運営スタッフ等に関わっている。

#### ■ 聖学院大学復興支援ボランティアチーム SAVE

東日本大震災の復興支援を目的に発足。年2～3回岩手県釜石市で実施する「復興支援ボランティアスタディツアー」の企画・運営や学園祭での被災地の物産販売、募金活動などを実施している。

#### ■ 手話同好会

手話の勉強をし、手話技能検定取得を目指している。また、ボランティアとして、福祉施設での手話歌の発表や交流を行っている。

#### ■ ほたる祭り実行委員会

飼育したホタルを地域の方々に観賞していただく「ほたる祭り」の企画・運営を行っている。2015年6月13日に実施。

## ■ ボラフェス実行委員会

大学学園祭(ヴェリタス祭)2015年11月2～3日に合わせ、地域の福祉施設を招き、模擬店販売などを実施。福祉を身近に感じる機会を作ると共に、ボランティア紹介の機会を作った。

## 2. 政治経済学部 of 活動

---

政治経済学部のまちづくり学と地域社会論のゼミ生が、JR高崎線宮原駅西口のコンコースに、花のプランターを設置し美化する活動を、NPO法人織りの音アート・福祉協会(多機能事業所「野種」)と協働で、2015年度も実施した。なお、この活動は2006年より行っている。

## 3. 地域連携・ボランティア活動

---

データブック 2017 chapter3 p62 参照。

聖学院大学ボランティア活動支援センター <http://seig-vc.jimdo.com/>

## 4. 埼玉県選挙カレッジ

---

県内大学の学生が県選管において、1年間に亘って街頭啓発、冊子の作成、大学内への出張講義等の活動を行い、選挙啓発を行う。**2015年は2名**の本学学生が参加。

## 5. 防災用備蓄倉庫・防災拠点校

---

上尾市と防災用備蓄倉庫の使用等に関する協定書を交わし、2009年より毛布、担架、発電機など非常用の備蓄品を本学倉庫に設置している。

また2012年には災害時における防災拠点校の使用に関する覚書を交わした。

## 6. 避難施設の指定について同意

---

本学は埼玉県の、国民保護法第148条1項に指定する避難施設の指定について、2011年に同意をした。